

2015年11月18日

お客様各位

日興アセットマネジメント株式会社

**資源株ファンド 通貨選択シリーズ**  
**<ブラジルリアル・コース> <南アフリカランド・コース> <オーストラリアドル・コース> <米ドル・コース>**  
**(毎月分配型)**

**2015年11月決算と今後の見通しについて**

平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、ご愛顧いただいております掲題ファンドは、2015年11月17日に決算を迎えました。今回の決算において当ファンドは、市況動向や、基準価額に対する分配金額などの状況を総合的に勘案し、また、分配金額を見直すことで運用を行なう資産を増やし、将来の運用成果を高めることをめざして、以下の通り、ブラジルリアル・コースと南アフリカランド・コースの分配金額を減らすことと致しました。

次ページ以降において、見直しの背景などについてまとめましたので、ご一読いただければ幸いです。

今後とも、「資源株ファンド 通貨選択シリーズ」の各コースをご愛顧くださいますよう、何卒よろしく願い申し上げます。

**分配実績**

コース名		ブラジルリアル・コース	南アフリカランド・コース	オーストラリアドル・コース	米ドル・コース
分配金額 (税引前、 1万口当たり)	2015年 11月	40円 <引き下げ>	40円 <引き下げ>	60円	50円
	2015年 10月	70円	70円	60円	50円
2015年11月17日現在の 基準価額 (税引前分配金控除後、1万口当たり)		1,939円	3,114円	5,295円	7,742円

※基準価額は、信託報酬(後述の「手数料等の概要」参照)控除後の1万口当たりの値です。

※分配金額は収益分配方針に基づいて委託会社が決定しますが、委託会社の判断により分配金額を変更する場合や分配を行わない場合もあります。

**※ 上記グラフ・データは過去のものであり、将来の運用成果等を約束するものではありません。**

■当資料は、投資者の皆様へ「資源株ファンド 通貨選択シリーズ<ブラジルリアル・コース><南アフリカランド・コース><オーストラリアドル・コース><米ドル・コース>(毎月分配型)」へのご理解を高めいただくことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。■掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動や運用成果などを保証するものではありません。

足元の  
投資環境

中国の景気動向や米利上げ観測が変動を高める展開に

【株式市場】中国の景気減速懸念が資源株の下押し圧力に

- 8月の中国の人民元切り下げをきっかけに、中国経済および世界経済の先行き懸念が拡がるなか、資源価格および資源関連株式（資源株）は下落基調が続きました。こうしたなか、9月中旬に米国で利上げが見送られると、景気の先行き不透明感が強まるとともに株式市場は大きく調整することとなり、資源株は、株式市場の中でも下落を強める展開となりました。
- ただし、10月に入ると、米原油生産の減少見通しやOPEC（石油輸出国機構）の事務局長が原油の過剰供給の削減に向けた協調を呼びかけたことなどから、原油の需給改善期待が高まったほか、先行き不透明感を背景に米国で緩和的な金融政策が続くとの見方が強まり、株式市場が上昇に転じると、売られ過ぎ感の強かった資源株も上昇を強めるなど、資源株は原油価格と株式市場の双方の変動に左右される展開が続きました。

【為替市場】米利上げ観測の影響を受け変動が大きい展開に

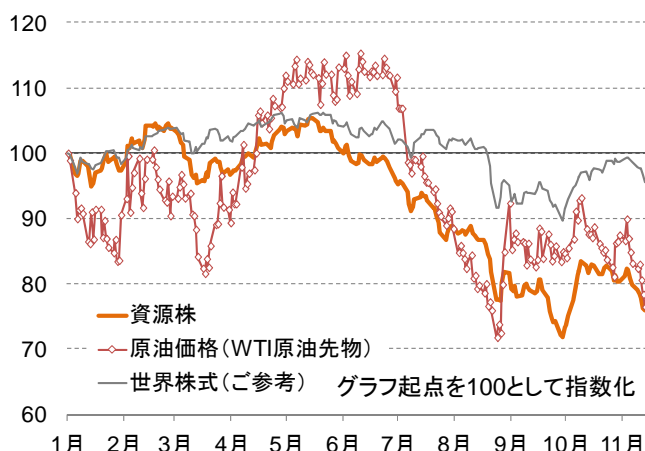
- 為替市場では、世界経済の先行き懸念を背景に、投資家のリスク回避姿勢が強まるなか、円が買われる一方、資源国通貨が売られました。その後は反発する場面もみられ、資源国通貨は変動の高まる状況が続きました。
- ブラジルレアルは、夏以降、政局不安や財政健全化目標の大幅引き下げなどを受け、資源国通貨のなかでも下落幅が大きくなりました。しかし、9月下旬以降は、ブラジル中央銀行が通貨安を抑制する姿勢をみせたことや、政府による財政再建策の進展期待が高まったことなどを受け、底堅い推移がみられました。
- 南アフリカランドは、同国の冴えない経済見通しが重石となった一方、海外からの証券投資が多いことから、米利上げ観測の変化に影響を受けやすい傾向にあり、変動の高まる展開が続きました。加えて、金産出国である同国では、足元の金価格下落も通貨の下押し圧力となりました。

当ファンドの基準価額への影響について

- こうした環境下、資源株、資源国通貨ともに変動の高い展開が続いたことから、当ファンドの基準価額も変動幅が大きくなりました。相場反発局面では、資源株が基準価額にプラス寄与する場面もみられましたが、特にブラジルレアル・コースや南アフリカランド・コースにおいて、通貨の軟調が基準価額水準を押し下げました。

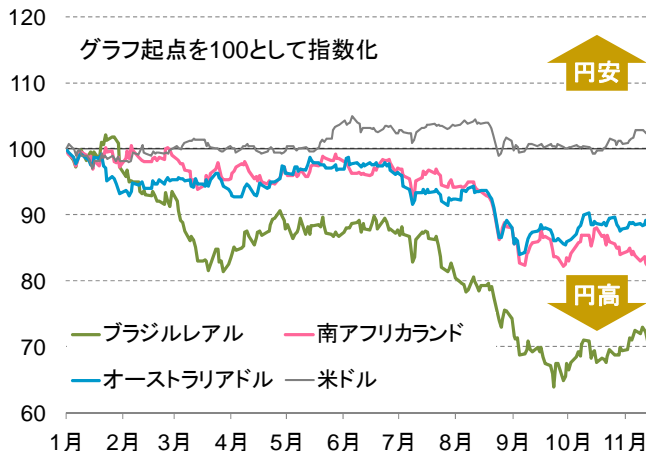
＜資源株と原油価格の推移（米ドルベース）＞

（2015年1月初～2015年11月13日）



＜為替（対円）の推移＞

（2015年1月初～2015年11月13日）



資源株：S&Pグローバル・ナチュラル・リソースズ指数、世界株式：MSCI AC ワールド指数  
※ 上記指数は、市況動向をご紹介するための参考指標であり、当ファンドのベンチマークではありません。

信頼できると判断したデータをもとに日興アセットマネジメントが作成

※ 上記グラフ・データは過去のものであり、将来の運用成果等を約束するものではありません。

■ 当資料は、投資者の皆様にご理解を深めていただくことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。■ 掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動や運用成果などを保証するものではありません。

## 利益創出や配当維持に向けた取り組みを続ける資源関連企業

- 先般発表された資源関連企業の7-9月期の決算では、売り上げの大きな落ち込みがみられたものの、多くの企業の業績は、事前の市場予想を上回る内容となりました。特に、多くの石油メジャー(国際石油資本)においては、原油安の影響により減益となったものの、依然として利益を生み出す底堅い業績となりました。
- この背景には、原油安の恩恵を受けて石油小売などの下流ビジネスが堅調となったことに加え、継続的に実施しているコスト削減による利益率の改善などが業績に寄与したと考えられます。資源関連企業が設備投資の削減や資産売却などを加速させ、環境に適応しながら利益を生み出す体制づくりを続けていることに加え、配当などの株主還元を維持する姿勢をみせていることは、市場での評価につながると考えられます。
- 原油価格については、米国の利上げ観測に伴う米ドル高が重石となっているほか、原油の需給バランスの改善には時間を要すると懸念されていることから、当面、上値の重い状況が見込まれます。しかしながら、米国では、原油の掘削リグ稼働数が足元で約5年ぶりの水準にまで減少し、生産量も今年半ばをピークに減少に転じつつあることに加え、石油メジャーなどの供給削減に向けた取り組みにより、需給バランスが来年にも改善する可能性があります。また、主要国の安定的な経済成長や原油安による消費喚起などを背景に、継続的な需要の拡大が続いており、原油需要は堅調に推移すると期待されます。
- 資源を取り巻く環境には、当面、先行き不透明感が残り、ファンダメンタルズの改善は緩やかなペースになると見込まれるなか、当ファンドでは、価格競争力に強みを持ち、安定した経営基盤や強固な財務体質を有する企業を選好することが重要と考えます。こうした特徴は、市況の回復局面ですぐに投資を再開し、生産を増やすために企業にとって必要な要素とみられ、当ファンドでは、これらを備えた資源関連企業を選定し、引き続き、投資を行なってまいります。

※ 当資料は、当ファンドの主要投資対象である「ナチュラル・リソース・ファンド」を運用する日興アセットマネジメントアメリカズ・インクからのコメントなどをもとに、日興アセットマネジメントが作成しています。

### 〈資源株と世界株式の予想配当利回りの推移〉

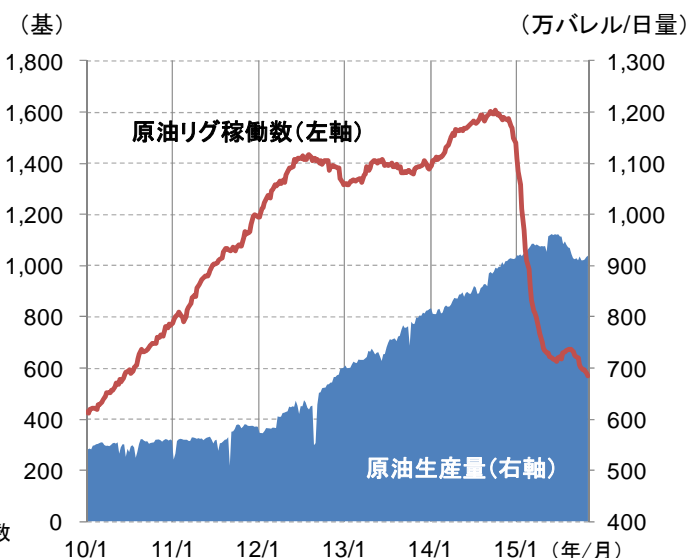
(2015年1月初～2015年11月13日)



資源株：S&Pグローバル・ナチュラル・リソース指数、世界株式：MSCI AC ワールド指数  
※ 上記指数は、市況動向をご紹介するための参考指標であり、当ファンドのベンチマークではありません。

### 〈米国の原油リグ稼働数と原油生産量の推移〉

(2010年1月第1週～2015年11月第1週)



信頼できると判断したデータをもとに日興アセットマネジメントが作成

※ 上記グラフ・データは過去のものであり、将来の運用成果等を約束するものではありません。

■ 当資料は、投資者の皆様へ「資源株ファンド 通貨選択シリーズ〈ブラジルリアル・コース〉〈南アフリカランド・コース〉〈オーストラリアドル・コース〉〈米ドル・コース〉(毎月分配型)」へのご理解を高めていただくことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。■ 掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動や運用成果などを保証するものではありません。

今後の見通し  
(通貨)

各通貨の状況と見通し

以下に、今回分配金額の変更を行なったコースの通貨見通しをご紹介します。



ブラジル  
レアル

政府による財政健全化に向けた取り組みが注目される

- ブラジルでは、それまでの通貨下落を受け、9月下旬に中央銀行総裁が外貨準備を通じた通貨下支えの可能性を示唆したことや、政府による財政再建策の進展期待が高まったことなどから、足元でレアルの持ち直しがみられるものの、減速が続く景気の先行き不透明感や米利上げ観測がレアルの下押し圧力になっています。
- こうしたなか、同国中央銀行は、インフレ抑制のため、現在の政策金利の水準(14.25%)を長期間維持するとしています。ただし、10月下旬の会合では、「2016年末」としていたインフレ目標の具体的な達成期限についての記述が削除されたことから、景気にも配慮する姿勢がみられます。
- ブラジル経済は足元で厳しい状況にあることから、当面は経済情勢への注視が必要ですが、外貨準備高はこの10年で約7倍に積み上げられており、レアル売りに対する耐性はかつてに比べてかなり強化されています。そのため、同国政府が、財政健全化に向けた取り組みを維持・強化できれば、レアルは安定化に向かうと見込まれます。



南アフリカ  
ランド

経済情勢や米利上げ観測により、通貨は不安定な展開となる見通し

- 南アフリカでは、世界貿易の鈍化や商品価格の軟調による鉱業部門への影響、通貨安に伴う輸入物価の高騰など、国内外の諸問題から、景気が思わしくなく、10月下旬には、同国政府によって2015年の経済成長率見通しが2%から1.5%に下方修正されました。
- 失業率が高止まりするなか、高水準のインフレ率や経常赤字の増加などへの対応が課題となっています。中央銀行は、経済成長を犠牲にインフレ抑制に向けた利上げを行なうべきかという難しい選択を迫られており、近いうちに利上げを行なう可能性も考えられます。
- こうした状況に加え、南アフリカランドは、海外からの証券投資割合も高いことから、海外情勢も大きな変動要因になると考えられます。特に、米利上げ観測は、米ドル高に伴う金価格の下落などを通じ、ランドの大きな下押し圧力となっており、足元で年内の米利上げの可能性が高まるなか、今後も、ランドは不安定な動きが続くとみられます。

※ 当資料は、当ファンドの主要投資対象である「ナチュラル・リソース・ファンド」を運用する日興アセットマネジメントアメリカズ・インクからのコメントなどをもとに、日興アセットマネジメントが作成しています。

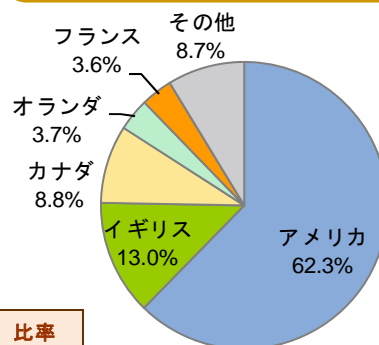
※以下は、当ファンドの主要投資対象である「ナチュラル・リソース・ファンド」のポートフォリオの内容です。

### ポートフォリオ概要 (2015年10月末現在)

#### 業種比率

業種	比率
エネルギー	51.8%
素材	42.3%
農業・食料	3.8%

#### 国別株式組入比率



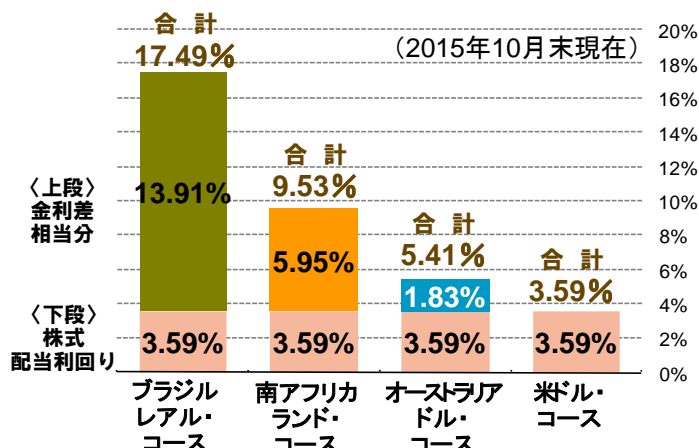
#### 株式組入上位10銘柄

順位	銘柄名	国名	業種	比率
1	EXXON MOBIL CORP エクソンモービル	アメリカ	エネルギー	4.97%
2	BHP BILLITON PLC-ADR BHPビルトン	イギリス	素材	4.61%
3	CHEVRON CORP シェvron	アメリカ	エネルギー	4.03%
4	ARCHER-DANIELS-MIDLAND CO アーチャー・ダニエルズ・ミッドランド	アメリカ	農業・食料	3.77%
5	RIO TINTO PLC-SPON ADR リオ・ティント	イギリス	素材	3.73%
6	ROYAL DUTCH SHELL-SPON ADR-A ロイヤル・ダッチ/シェル	オランダ	エネルギー	3.65%
7	TOTAL SA-SPON ADR トタル	フランス	エネルギー	3.56%
8	INTERNATIONAL PAPER CO インターナショナル・ペーパー	アメリカ	素材	2.89%
9	BP PLC-SPONS ADR BP	イギリス	エネルギー	2.85%
10	MONSANTO CO モンサント	アメリカ	素材	2.78%

【銘柄数：69銘柄】

※上記比率は、「ナチュラル・リソース・ファンド」の組入株式評価総額に対するものです。  
※各数値は四捨五入処理をしておりますので、合計が100%にならない場合があります。

#### 【ご参考】株式配当利回りと各通貨の金利差相当分



※金利差相当分：ブラジルリアル短期金利(CD(譲渡性預金証書)レート1ヵ月)、南アフリカランド短期金利(ヨハネスブルグ・インターバンク・アグリド・レート1ヵ月)、オーストラリアドル短期金利(1ヵ月物銀行手形金利)から、それぞれ米ドル金利(1ヵ月LIBOR)を差し引いて算出。  
株式配当利回り：「ナチュラル・リソース・ファンド」の株式配当利回り  
※各数値は四捨五入処理をしておりますので、それをを用いて計算すると誤差が生じることがあります。  
※金利差相当分は、各資源国通貨と米ドル間の金利差水準によっては為替取引によるコストとなり、運用成果にマイナスに働くこともあります。  
※実際の運用においては、為替取引時の手数料相当額などが金利差相当分に加味されます。

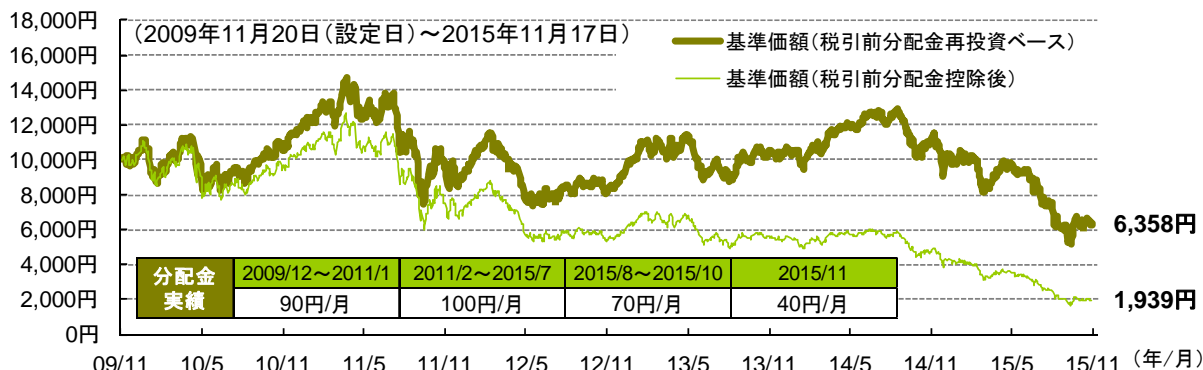
日興アセットマネジメント アメリカズ・インクより提供された情報をもとに  
日興アセットマネジメントが作成

※ 上記グラフ・データは過去のものであり、将来の運用成果等を約束するものではありません。

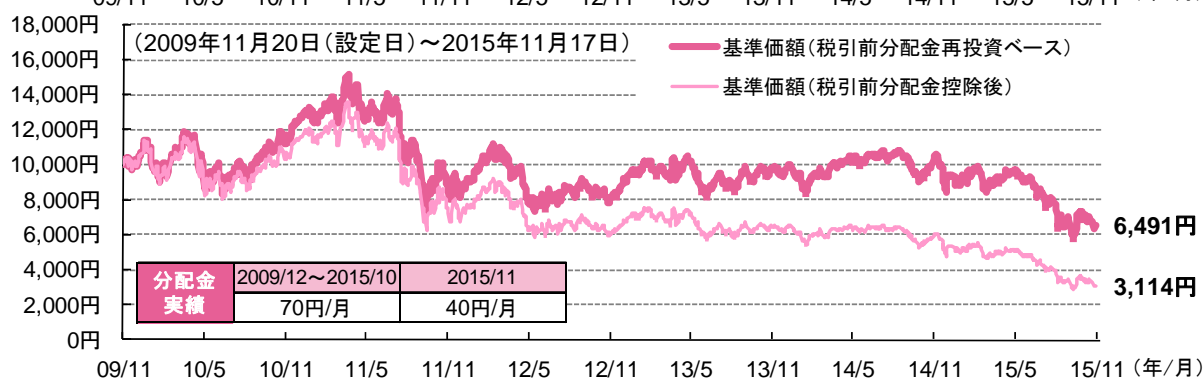
■当資料は、投資者の皆様へ「資源株ファンド 通貨選択シリーズ<ブラジルリアル・コース><南アフリカランド・コース><オーストラリアドル・コース><米ドル・コース>(毎月分配型)」へのご理解を高めていただくことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。■掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動や運用成果などを保証するものではありません。

## 基準価額と分配金の推移

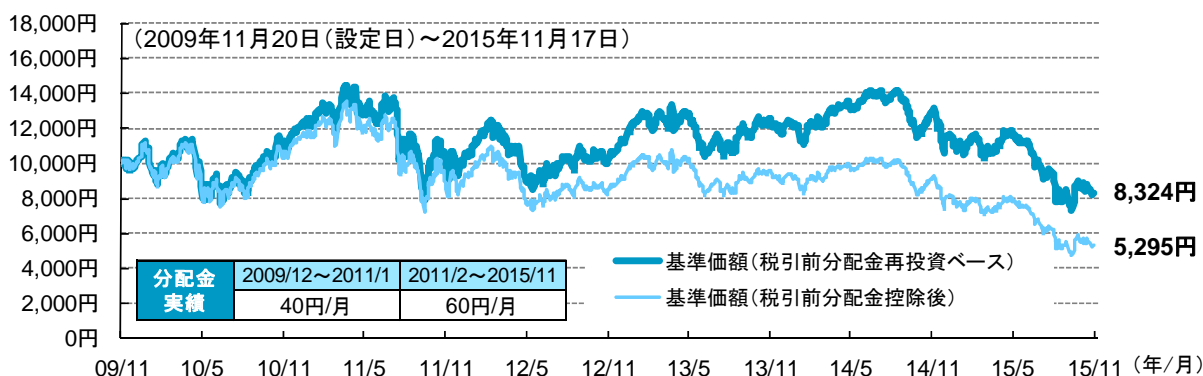
### ブラジル リアル・ コース



### 南アフリカ ランド・ コース



### オーストラリア ドル・ コース



### 米ドル・ コース



※ 上記グラフ・データは過去のものであり、将来の運用成果等を約束するものではありません。  
 ※ 基準価額は信託報酬（後述の「手数料等の概要」参照）控除後の、分配金は税引前の、それぞれ1万口当たりの値です。  
 ※ 税引前分配金再投資ベースとは、税引前分配金を再投資したもとして計算した理論上のものであることにご留意ください。  
 ※ 分配金額は収益分配方針に基づいて委託会社が決定しますが、委託会社の判断により分配金額を変更する場合や分配を行わない場合もあります。

■当資料は、投資者の皆様へ「資源株ファンド 通貨選択シリーズ<ブラジルリアル・コース><南アフリカランド・コース><オーストラリアドル・コース><米ドル・コース>（毎月分配型）」へのご理解を高めていただくことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。■掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動や運用成果などを保証するものではありません。

## 収益分配金に関する留意事項

- 分配金は、預貯金の利息とは異なり、投資信託の純資産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。

### 投資信託で分配金が支払われるイメージ

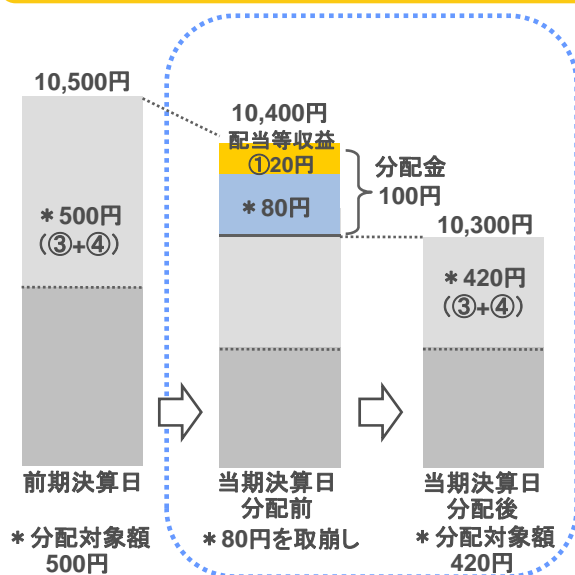
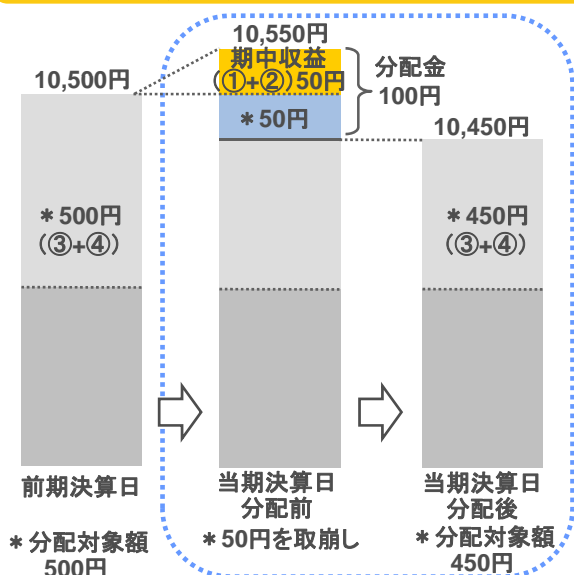


- 分配金は、計算期間中に発生した収益(経費控除後の配当等収益および評価益を含む売買益)を超えて支払われる場合があります。その場合、当期決算日の基準価額は前期決算日と比べて下落することになります。また、分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。

### 計算期間中に発生した収益を超えて支払われる場合

#### 前期決算から基準価額が上昇した場合

#### 前期決算から基準価額が下落した場合



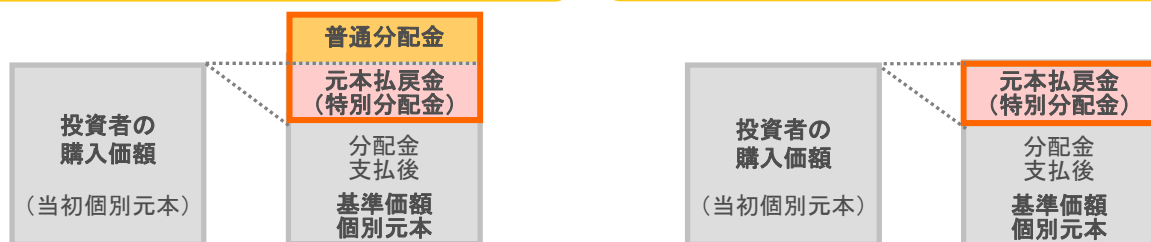
(注)分配対象額は、①経費控除後の配当等収益および②経費控除後の評価益を含む売買益ならびに③分配準備積立金および④収益調整金です。分配金は、分配方針に基づき、分配対象額から支払われます。

※上記はイメージであり、将来の分配金の支払いおよび金額ならびに基準価額について示唆、保証するものではありません。

- 投資者のファンドの購入価額によっては、分配金の一部または全部が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がりの方が小さかった場合も同様です。

#### 分配金の一部が元本の一部払戻しに相当する場合

#### 分配金の全部が元本の一部払戻しに相当する場合



※元本払戻金(特別分配金)は実質的に元本の一部払戻しとみなされ、その金額だけ個別元本が減少します。また、元本払戻金(特別分配金)部分は非課税扱いとなります。

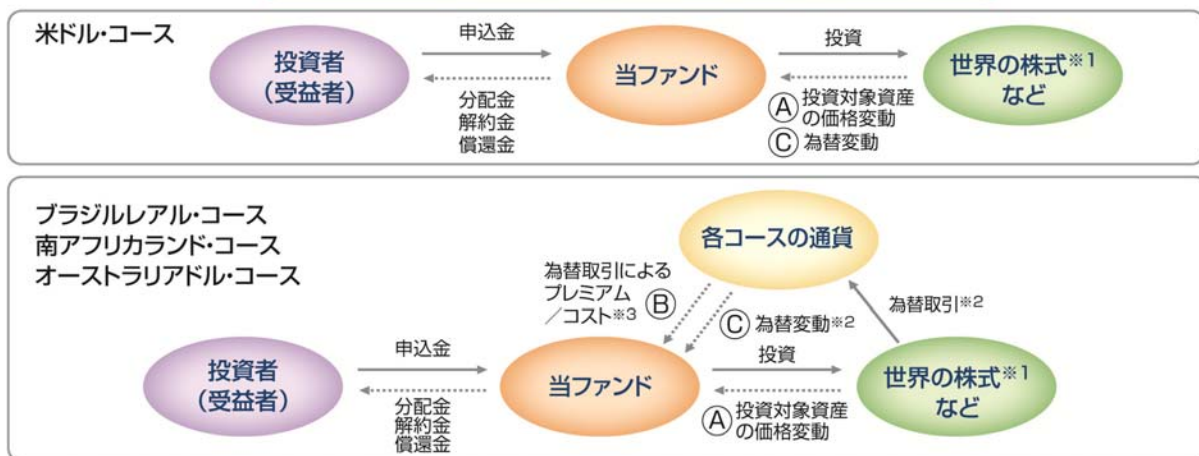
**普通分配金** : 個別元本(投資者のファンドの購入価額)を上回る部分からの分配金です。  
**元本払戻金 (特別分配金)** : 個別元本を下回る部分からの分配金です。分配後の投資者の個別元本は、元本払戻金(特別分配金)の額だけ減少します。

■当資料は、投資者の皆様へ「資源株ファンド 通貨選択シリーズ<ブラジルリアル・コース><南アフリカランド・コース><オーストラリアドル・コース><米ドル・コース>(毎月分配型)」へのご理解を高めていただくことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。■掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動や運用成果などを保証するものではありません。

## 通貨選択型ファンドの収益に関する留意事項

- 通貨選択型の投資信託は、投資対象資産(株式や債券など)の運用に加えて、為替取引による通貨の運用も行っており、為替取引の対象となる通貨を選択することができます。

通貨選択型の投資信託のイメージ図



※1 当ファンドは、外国投資信託を通じて世界の株式に投資を行いません。

※2 各コースの通貨と円の為替変動リスクがあります。

※3 為替取引によるプレミアム/コストは、為替取引を行なう通貨間の金利差相当分の収益/費用です。

- 通貨選択型の投資信託の収益源としては、以下の3つの要素が挙げられます。なお、収益源である3つの要素にはリスクが内在しています。詳しくは、「リスク情報」をご覧ください。

収益の源泉		=	(A) 株価の値上がり/値下がり	+	(B) 為替ヘッジプレミアム/コスト	+	(C) 為替差益/差損
米ドル・コース	収益を得られるケース		株価の上昇*		為替ヘッジを行なわないのでありません。		為替差益の発生 原資産通貨に対して <b>円安</b>
	損失やコストが発生するケース		株価の下落*			為替差損の発生 原資産通貨に対して <b>円高</b>	
収益の源泉		=	(A) 株価の値上がり/値下がり	+	(B) 為替取引によるプレミアム/コスト	+	(C) 為替差益/差損
ブラジルリアル・コース 南アフリカランド・コース オーストラリアドル・コース	収益を得られるケース		株価の上昇*		プレミアム(金利差相当分の収益)の発生 各コースの通貨の金利 - 米ドル金利が <b>プラス</b>		為替差益の発生 各コースの通貨に対して <b>円安</b>
	損失やコストが発生するケース		株価の下落*		コスト(金利差相当分の費用)の発生 各コースの通貨の金利 - 米ドル金利が <b>マイナス</b>		為替差損の発生 各コースの通貨に対して <b>円高</b>

\*ADRに投資する場合、ADRの価格には、当該現地株式の通貨に対する米ドルの変動が含まれます。そのため、当該現地株式の通貨に対して米ドル安であれば、株価上昇要因、当該現地株式の通貨に対して米ドル高であれば、株価下落要因となります。

※市況動向によっては、上記の通りにならない場合があります。

## 通貨運用に関する留意事項

- 各通貨の運用に当たっては、直物為替先渡取引(NDF取引)を活用する場合があります。
- NDF取引とは、投資対象通貨を用いた受渡を行わず、主に米ドル等による差金決済のみを行なう取引のことを言います。
- NDF取引では、需給や規制などの影響により、為替取引によるプレミアム(金利差相当分の収益)/コスト(金利差相当分の費用)が、短期金利から算出される理論上の水準から乖離する場合があります。そのため、想定している投資成果が得られない可能性があります。
- 為替取引には、為替ヘッジ(原資産通貨を売り、円を買う取引)が含まれています。為替ヘッジの場合、「為替取引によるプレミアム/コスト」を「為替ヘッジプレミアム/コスト」といいます。

■ 当資料は、投資者の皆様へ「資源株ファンド 通貨選択シリーズ<ブラジルリアル・コース><南アフリカランド・コース><オーストラリアドル・コース><米ドル・コース>(毎月分配型)」へのご理解を高めていただくことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。■ 掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動や運用成果などを保証するものではありません。



## ファンドの特色

1. 主として世界の資源株に投資を行ない、中長期的な値上がり益の獲得をめざします。
  2. 「ブラジルリアル・コース」「南アフリカランド・コース」「オーストラリアドル・コース」「米ドル・コース」の4つのコースがあります。
  3. 毎月、収益分配を行なうことをめざします。  
※ 分配金額は収益分配方針に基づいて委託会社が決定しますが、委託会社の判断により分配金額を変更する場合や分配を行なわない場合もあります。
- 市況動向および資金動向などにより、上記のような運用が行なえない場合があります。

## お申込みに際しての留意事項①

### ■リスク情報

投資者の皆様は投資元金は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元金を割り込むことがあります。ファンドの運用による損益はすべて投資者(受益者)の皆様に帰属します。なお、当ファンドは預貯金とは異なります。

当ファンドは、主に株式(預託証券を含みます。以下同じ。)を実質的な投資対象としますので、株式の価格の下落や、株式の発行体の財務状況や業績の悪化などの影響により、基準価額が下落し、損失を被ることがあります。また、外貨建資産に投資する場合には、為替の変動により損失を被ることがあります。

投資対象とする投資信託証券の主なリスクは以下の通りです。

### 【価格変動リスク】

- ・株式の価格は、会社の成長性や収益性の企業情報および当該情報の変化に影響を受けて変動します。また、国内および海外の経済・政治情勢などの影響を受けて変動します。ファンドにおいては、株式の価格変動または流動性の予想外の変動があった場合、重大な損失が生じるリスクがあります。
- ・新興国の株式は、先進国の株式に比べて価格変動が大きくなる傾向があり、基準価額にも大きな影響を与える場合があります。
- ・公社債は、金利変動により価格が変動するリスクがあります。一般に金利が上昇した場合には価格は下落し、ファンドの基準価額が値下がりする要因となります。ただし、その価格変動幅は、残存期間やクーポンレートなどの発行条件などにより債券ごとに異なります。

### 【流動性リスク】

- ・市場規模や取引量が少ない状況においては、有価証券の取得、売却時の売買価格は取引量の大きさに影響を受け、市場実勢から期待できる価格どおりに取引できないリスク、評価価格どおりに売却できないリスク、あるいは、価格の高低に関わらず取引量が限られてしまうリスクがあり、その結果、不測の損失を被るリスクがあります。
- ・新興国の株式は、先進国の株式に比べて市場規模や取引量が少ないため、流動性リスクが高まる場合があります。

### 【信用リスク】

- ・投資した企業の経営などに直接・間接を問わず重大な危機が生じた場合には、ファンドにも重大な損失が生じるリスクがあります。デフォルト(債務不履行)や企業倒産の懸念から、発行体の株式などの価格は大きく下落(価格がゼロになることもあります。)し、ファンドの基準価額が値下がりする要因となります。
- ・一般に公社債および短期金融資産の発行体にデフォルト(債務不履行)が生じた場合またはそれが予想される場合には、公社債および短期金融資産の価格が下落(価格がゼロになることもあります。)し、ファンドの基準価額が値下がりする要因となります。また、実際にデフォルトが生じた場合、投資した資金が回収できないリスクが高い確率で発生します。(次ページへ続きます)

■当資料は、投資者の皆様は「資源株ファンド 通貨選択シリーズ<ブラジルリアル・コース><南アフリカランド・コース><オーストラリアドル・コース><米ドル・コース>(毎月分配型)」へのご理解を高めていただくことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。■掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動や運用成果などを保証するものではありません。

## お申込みに際しての留意事項②

## 【為替変動リスク】

(前ページより続きます)

## ◆ブラジルリアル・コース

・投資対象とする外国投資信託の組入資産については、原則として米ドル売り、ブラジルリアル買いの為替取引を行なうため、ブラジルリアルの対円での為替変動の影響を受けます。一般に外国為替相場がブラジルリアルに対して円高になった場合には、ファンドの基準価額が値下がりする要因となります。なお、為替取引を完全に行なうことができるとは限らないため、場合によってはブラジルリアルと米ドルの2通貨間の金利差を十分に享受することができない可能性や、米ドルの対円での為替変動の影響を受ける可能性があります。また、ブラジルリアルの金利が米ドル金利より低い場合、米ドルとブラジルリアルの金利差相当分の為替取引によるコストが発生します。

・投資対象とする外国投資信託の組入資産であるADRの値動きは、当該企業の株式の価格変動に加えて、当該株式の発行国通貨の米ドルに対する為替変動の影響を受けます。

・一般に新興国の通貨は、先進国の通貨に比べて為替変動が大きくなる場合があります。

## ◆南アフリカランド・コース

・投資対象とする外国投資信託の組入資産については、原則として米ドル売り、南アフリカランド買いの為替取引を行なうため、南アフリカランドの対円での為替変動の影響を受けます。一般に外国為替相場が南アフリカランドに対して円高になった場合には、ファンドの基準価額が値下がりする要因となります。なお、為替取引を完全に行なうことができるとは限らないため、場合によっては南アフリカランドと米ドルの2通貨間の金利差を十分に享受することができない可能性や、米ドルの対円での為替変動の影響を受ける可能性があります。また、南アフリカランドの金利が米ドル金利より低い場合、米ドルと南アフリカランドの金利差相当分の為替取引によるコストが発生します。

・投資対象とする外国投資信託の組入資産であるADRの値動きは、当該企業の株式の価格変動に加えて、当該株式の発行国通貨の米ドルに対する為替変動の影響を受けます。

・一般に新興国の通貨は、先進国の通貨に比べて為替変動が大きくなる場合があります。

## ◆オーストラリアドル・コース

・投資対象とする外国投資信託の組入資産については、原則として米ドル売り、オーストラリアドル買いの為替取引を行なうため、オーストラリアドルの対円での為替変動の影響を受けます。一般に外国為替相場がオーストラリアドルに対して円高になった場合には、ファンドの基準価額が値下がりする要因となります。なお、為替取引を完全に行なうことができるとは限らないため、場合によってはオーストラリアドルと米ドルの2通貨間の金利差を十分に享受することができない可能性や、米ドルの対円での為替変動の影響を受ける可能性があります。また、オーストラリアドルの金利が米ドル金利より低い場合、米ドルとオーストラリアドルの金利差相当分の為替取引によるコストが発生します。

・投資対象とする外国投資信託の組入資産であるADRの値動きは、当該企業の株式の価格変動に加えて、当該株式の発行国通貨の米ドルに対する為替変動の影響を受けます。

## ◆米ドル・コース

・投資対象とする外国投資信託の組入資産については、原則として為替ヘッジを行なわないため、米ドルの対円での為替変動の影響を受けます。一般に外国為替相場が米ドルに対して円高になった場合には、ファンドの基準価額が値下がりする要因となります。

・投資対象とする外国投資信託の組入資産であるADRの値動きは、当該企業の株式の価格変動に加えて、当該株式の発行国通貨の米ドルに対する為替変動の影響を受けます。

(次ページへ続きます)

■当資料は、投資者の皆様へ「資源株ファンド 通貨選択シリーズ<ブラジルリアル・コース><南アフリカランド・コース><オーストラリアドル・コース><米ドル・コース>(毎月分配型)」へのご理解を高めいただくことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。■掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動や運用成果などを保証するものではありません。

お申込みに際しての留意事項③

(前ページより続きます)

【カントリー・リスク】

- ・投資対象国における非常事態など(金融危機、財政上の理由による国自体のデフォルト、重大な政策変更や資産凍結を含む規制の導入、自然災害、クーデターや重大な政治体制の変更、戦争など)を含む市況動向や資金動向などによっては、ファンドにおいて重大な損失が生じるリスクがあり、投資方針に従った運用ができない場合があります。
- ・一般に新興国は、情報の開示などが先進国に比べて充分でない、あるいは正確な情報の入手が遅延する場合があります。

※ファンドが投資対象とする投資信託証券は、これらの影響を受けて価格が変動しますので、ファンド自身にもこれらのリスクがあります。

※基準価額の変動要因は、上記に限定されるものではありません。

■その他の留意事項

- 当資料は、投資者の皆様へ「資源株ファンド 通貨選択シリーズ<ブラジルリアル・コース><南アフリカランド・コース><オーストラリアドル・コース><米ドル・コース>(毎月分配型)」へのご理解を高めていただくことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。
- 当ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定(いわゆるクーリング・オフ)の適用はありません。
- 投資信託は、預金や保険契約とは異なり、預金保険機構および保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、銀行など登録金融機関で購入された場合、投資者保護基金の支払いの対象とはなりません。
- 投資信託の運用による損益は、すべて受益者の皆様に帰属します。当ファンドをお申込みの際には、投資信託説明書(交付目論見書)などを販売会社よりお渡ししますので、内容を必ずご確認の上、お客様ご自身でご判断ください。

委託会社、その他関係法人

- 委託会社 日興アセットマネジメント株式会社  
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第368号  
加入協会: 一般社団法人投資信託協会、一般社団法人日本投資顧問業協会、日本証券業協会
- 受託会社 三井住友信託銀行株式会社(再信託受託会社: 日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社)
- 販売会社 販売会社については下記にお問い合わせください。  
日興アセットマネジメント株式会社  
[ホームページ] <http://www.nikkoam.com/>  
[コールセンター] 0120-25-1404 (午前9時~午後5時。土、日、祝・休日は除く。)

投資信託説明書(交付目論見書)のご請求・お申込みは

金融商品取引業者等の名称	登録番号	加入協会			
		日本証券業協会	一般社団法人日本投資顧問業協会	一般社団法人金融先物取引業協会	一般社団法人第二種金融商品取引業協会
野村證券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第142号	○	○	○	○
三井住友信託銀行株式会社	登録金融機関 関東財務局長(登金)第649号	○	○	○	

(50音順、資料作成日現在)

■当資料は、投資者の皆様へ「資源株ファンド 通貨選択シリーズ<ブラジルリアル・コース><南アフリカランド・コース><オーストラリアドル・コース><米ドル・コース>(毎月分配型)」へのご理解を高めていただくことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。■掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動や運用成果などを保証するものではありません。

## お申込メモ

- 商品分類 追加型投信／内外／株式
- ご購入単位 購入単位につきましては、販売会社または委託会社の照会先にお問い合わせください。
- ご購入価額 購入申込受付日の翌営業日の基準価額
- ご購入不可日 購入申込日がニューヨーク証券取引所の休業日またはニューヨークの銀行休業日に当たる場合は、購入のお申込みの受付(スイッチングを含みます。)は行ないません。詳しくは、販売会社にお問い合わせください。
- 信託期間 【ブラジルリアル・コース／南アフリカランド・コース／オーストラリアドル・コース】  
2024年6月17日まで(2009年11月20日設定)  
【米ドル・コース】  
2024年6月17日まで(2013年9月18日設定)
- 決算日 毎月17日(休業日の場合は翌営業日)
- 収益分配 【ブラジルリアル・コース／南アフリカランド・コース／オーストラリアドル・コース】  
毎決算時に、分配金額は、委託会社が決定するものとし、原則として、安定した分配を継続的に  
行なうことをめざします。  
※将来の分配金の支払いおよびその金額について保証するものではありません。  
※「原則として、安定した分配を行なう」方針としていますが、これは、運用による収益が安定した  
ものになることや基準価額が安定的に推移することなどを示唆するものではありません。  
また、基準価額の水準、運用の状況などによっては安定した分配とならない場合があることに  
ご留意ください。  
【米ドル・コース】  
毎決算時に、分配金額は、委託会社が基準価額水準、市況動向などを勘案して決定します。  
ただし、分配対象額が少額の場合には分配を行なわないこともあります。  
※将来の分配金の支払いおよびその金額について保証するものではありません。
- ご換金価額 換金請求受付日の翌営業日の基準価額
- ご換金不可日 換金請求日がニューヨーク証券取引所の休業日またはニューヨークの銀行休業日に当たる  
場合は、換金請求の受付(スイッチングを含みます。)は行ないません。  
詳しくは、販売会社にお問い合わせください。
- ご換金代金のお支払い 原則として、換金請求受付日から起算して7営業日目からお支払いします。
- 課税関係 原則として、分配時の普通分配金ならびに換金時および償還時の差益は課税の対象となります。  
※課税上は、株式投資信託として取り扱われます。  
※公募株式投資信託は税法上、少額投資非課税制度の適用対象です。  
※配当控除の適用はありません。  
※益金不算入制度は適用されません。

## 手数料等の概要

お客様には、以下の費用をご負担いただきます。

<お申込時、ご換金時に直接ご負担いただく費用>

**購入時手数料** 購入時手数料率(スイッチングの際の購入時手数料率を含みます。)は、3.78%(税抜3.5%)を上限として販売会社が定める率とします。  
※分配金再投資コースの場合、収益分配金の再投資により取得する口数については、購入時手数料はかかりません。

《ご参考》

(金額指定で購入する場合)

購入金額に購入時手数料を加えた合計額が指定金額(お支払いいただく金額)となるよう購入口数を計算します。例えば、100万円の金額指定で購入する場合、指定金額の100万円の中から購入時手数料(税込)をいただきますので、100万円全額が当ファンドの購入金額とはなりません。

(口数指定で購入する場合)

例えば、基準価額10,000円のときに、購入時手数料率3.78%(税込)で、100万口ご購入いただく場合は、次のように計算します。

購入金額 = (10,000円 / 1万口) × 100万口 = 100万円、

購入時手数料 = 購入金額(100万円) × 3.78%(税込) = 37,800円となり、

購入金額に購入時手数料を加えた合計額103万7,800円をお支払いいただくこととなります。

**換金手数料**

ありません。

**信託財産留保額**

ありません。

※販売会社によっては、スイッチングが行なえない場合があります。詳しくは、販売会社にお問い合わせください。

<信託財産で間接的にご負担いただく(ファンドから支払われる)費用>

**信託報酬** 純資産総額に対して年率1.79%(税抜1.71%)程度を乗じて得た額が実質的な信託報酬となります。信託報酬率の内訳は、当ファンドの信託報酬率が年率1.08%(税抜1%)、投資対象とする投資信託証券の組入れに係る信託報酬率が年率0.71%程度となります。受益者が実質的に負担する信託報酬率(年率)は、投資対象とする投資信託証券の組入比率や当該投資信託証券の変更などにより変動します。詳しくは投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

**その他費用**

【ブラジルリアル・コース／南アフリカランド・コース／オーストラリアドル・コース】

目論見書などの作成・交付にかかる費用および監査費用などについては、ファンドの日々の純資産総額に対して年率0.1%を乗じた額の信託期間を通じた合計を上限とする額が信託財産から支払われます。

組入有価証券の売買委託手数料、借入金の利息および立替金の利息などについては、その都度、信託財産から支払われます。

※組入有価証券の売買委託手数料などは、運用状況などにより変動するものであり、事前に料率、上限額などを示すことはできません。

【米ドル・コース】

目論見書などの作成・交付および計理等の業務にかかる費用(業務委託する場合の委託費用を含みます。)、監査費用などについては、ファンドの日々の純資産総額に対して年率0.1%を乗じた額の信託期間を通じた合計を上限とする額が信託財産から支払われます。

組入有価証券の売買委託手数料、借入金の利息および立替金の利息などについては、その都度、信託財産から支払われます。

※組入有価証券の売買委託手数料などは、運用状況などにより変動するものであり、事前に料率、上限額などを示すことはできません。

※ 当ファンドの手数料などの合計額については、投資者の皆様がファンドを保有される期間などに応じて異なりますので、表示することができません。

※ 詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。